

オンラインポスターセッション ※ 発表会終了後にCisco WebExを使用し、解説させていただきます。

6月9日(水) 15:45 ~	
モードSトランスポンダの応答遅延特性の計測	角張 泰之、古賀 禎
ADS-B 導入に向けた脆弱性対策と補完用 WAM 技術の開発	長縄 潤一、宮崎 裕己、田嶋 裕久
GPS 時刻参照による楕円測位誤差の基礎評価	北折 潤、井上 諭、塩見 格一(客員研究員)
パッシブレーダによる移動体検出について	本田 純一、大津山 卓哉
ILS 電波干渉シミュレータの開発状況報告	本田 純一、松永 圭左、毛塚 敦、田嶋 裕久
無人航空機の監視における有人機向け技術の応用	河村 暁子、森岡 和行、二ツ森 俊一、米本 成人、角張 泰之
ミリ波を用いたヘリコプタ障害物監視支援技術	二ツ森 俊一、森岡 和行、河村 暁子、米本 成人
滑走路上の薄い水や氷の膜厚を計測する技術の開発	米本 成人、河村 暁子、二ツ森 俊一、森岡 和行
飛行実証実験による空地統合 SWIM に関する検討	呂 曉東、森岡 和行、古賀 禎

【Room 1】 6月10日(木) 15:50 ~	
負荷平準化指向の離散的空域編成	猿渡 康文(筑波大学)、鶴飼 孝盛(防衛大学校)、鳥海 重暮(中央大学)、陸山 康太
機械学習を活用した飛行時間予測精度の改善	岡 恵、陸山 康太、中村 陽一、虎谷 大地
統合管制情報処理システムのデータに関する調査	住谷 美登里
【Room 2】 6月10日(木) 15:50 ~	
無人航空機と有人航空機の空域共存に向けて	平林 博子、虎谷 大地、河村 暁子
レーダー監視下 RNP2 経路における横間隔短縮の検討	森 亮太
福岡 FIR の高高度空域におけるフリールーティン概念について	ブラウン マーク、平林 博子、フウインタ キトマル、ピクラマシノハ、村田 映紀、虎谷 大地、長岡 栄
羽田空港 D 滑走路出発便の地上走行における順序付けに関する考察	山田 泉、青山 久枝

オンライン開催につきまして

Cisco WebEx を使用し、インストールすることなく、Web ブラウザから閲覧可能です。参加費は無料ですが、事前のご登録をお願い致します。

事前登録はホームページよりご確認ください。

<https://www.enri.go.jp/>

【登録受付期間】6/3(木)15時まで

～ 皆様のご登録をお待ちしております ～

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

電子航法研究所

〒182-0012 東京都調布市深大寺東町 7-42-23

TEL:0422-41-3168 (研究計画課)

FAX:0422-41-3186

E-mail:info-k@enri.go.jp

HP:https://www.enri.go.jp/

国立研究開発法人
海上・港湾・航空技術研究所

電子航法研究所

第21回
研究発表会
WEB セミナー

令和3年

◆ 6月9日(水)
13:30 ~ 15:40

◆ 6月10日(木)
13:30 ~ 15:45

【事前登録サイト】 <https://www.enri.go.jp/>

* 登録受付期間 6/3(木)15時まで



第21回 研究発表会 WEBセミナープログラム



6月9日(水) 13:30~15:40

(※は講演者)

13:30~13:35	オリエンテーション	研究計画課長 宮崎 裕己
13:35~13:45	開会挨拶	電子航法研究所 所長 福田 豊
13:45~14:05	監視システム信号環境の動向と測定評価 ※大津山 卓哉、本田 純一、宮崎 裕己 監視システムの一つの評価指標である信号環境について飛行実験等での評価結果やICAO監視パネルでの検討状況について報告する。	
14:05~14:10	質疑応答	
14:10~14:30	定期航路フェリーを活用した海洋観測とこれからの大気観測の試み ※細川 真也(港湾空港技術研究所) 港空研では、フェリー会社にご協力いただき、これまで10年以上にわたり東京湾口の水質・流動観測を続けている。本講演では、この観測によって明らかとなった水質や流動の構造を説明し、さらに、近年新たに取り組んでいる大気観測の試みについて紹介する。	
14:30~14:35	質疑応答	
14:35~14:45	監視通信領域に関する説明について	領域長 住谷 泰人
14:45~15:05	ADS-B方式高度監視に係るADS-B幾何高度基準の判別 ※松永 圭左、金田 直樹、宮崎 裕己 RVSM空域を飛行する航空機の安全性評価のためのADS-B方式高度監視システムにおいて必要となるADS-B幾何高度基準情報の判別結果を報告する。	
15:05~15:10	質疑応答	
15:10~15:30	遠隔型タワーのための映像システムと支援機能の開発 ※井上 諭、ブラウン・マーク、角張 泰之、米本 成人、古賀 禎 リモートタワーの実用化に向けて、実験システムを構築してきた。今回はここまで開発してきた映像システム及び視覚支援機能の仕組みや評価について報告する。	
15:30~15:35	質疑応答	
15:35~15:40	オリエンテーション	研究計画課長 宮崎 裕己

15:45~ ポスターセッション(解説): 監視通信領域

6月10日(木) 13:30~15:45

(※は講演者)

13:30~13:35	オリエンテーション	研究計画課長 宮崎 裕己
13:35~13:45	航空交通管理領域に関する説明について	領域長 福島 幸子
13:45~14:05	東京国際空港を対象とした到着管理の研究開発と応用 ※伊藤 恵理、蔭山 康太、大津山 卓哉、天井 治、宮沢 与和、立川 智章、関根 将弘(東京理科大学)、加藤 古都、日笠 航希、森川 暢明(東京大学)、Juergen Rataj, Michael Fineke(ドイツ航空宇宙研究所)、Mihaela Mitici(テルフト工科大学)、Michael Schultz(ドレステン工科大学)、Srinivas Athota、Vu Duong(南洋理工大学) 本研究は、東京国際空港を対象に、エンルート空域から実施する効率的な到着管理手法を提案し、有効性を検証した。さらに、ASEAN地域やICAO国際基準策定に応用した。本発表では、これらの研究内容を総括する。	
14:05~14:10	質疑応答	
14:10~14:30	AIを用いた不安定進入の要因分析 ※森 亮太 航空会社から提供された飛行データをもとに、AIを用いて不安定進入につながる要因分析を行ったので報告する。	
14:30~14:35	質疑応答	
14:35~14:45	航法システム領域に関する説明について	領域長 福島 荘之介
14:45~15:05	MSASの測距機能とその性能評価 ※坂井 丈泰、北村 光教、渡邊 浩志 2007年に運用を開始したMSASは、2020年4月に使用衛星を準天頂衛星3号機に切り替えた。新旧MSASの測距機能とその性能について述べる。	
15:05~15:10	質疑応答	
15:10~15:30	基準局での信号受信とGBASへの着陸機の影響 ※齊藤 貞二 新千歳空港に設置したGBAS基準局で取得したデータを解析し、着陸機によるGPS衛星信号の遮蔽から、離隔距離を検討した結果について報告する。	
15:30~15:35	質疑応答	
15:35~15:45	閉会挨拶	研究統括監 高橋 健一

15:50~ ポスターセッション(解説): 航空交通管理領域

